

最後の晚餐 (1973)

LA GRANDE BOUFFE

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 フランス/イタリア

色彩 Color

時間 130分

初公開日 1974/10/12

公開情報 東和

【キャッチコピー】

猥褻をむさぼり、淫乱を飲みほす…すさまじい快樂地獄の異様な陶醉！

〈ひきしお〉の名匠フェレーリが戦慄のテーマに挑み、カンヌ映画祭を激論で真っ二つに割った衝撃の問題作！

【解説】

グロテスク・リアリズム風のユーモアで、現代人のモラルを切って捨てるフェレーリの作品の中でも、ドギつさNo.1。四人の男がとにかく喰ってばかりいる究極のグルメ映画と言えるが、いくら生きること絶望したからって、そんな自殺の仕方はよろしくない。結果として付きまとう排泄の問題はどうなるんだ……と思ったら、終わりの方はそっちのオンパレードで、いやぁ胸くそ悪いったらない。みんな喰いすぎでお腹こわして衰弱死しちゃうのよね。そんで最後は……ま、言わないでおきましょう。食べる場面はフェレーリの「サテリコン」に、出してる場面ではパゾリーニの「ソドムの市」に匹敵するほど、大悪趣味描写がスゴすぎて、笑うしかないのです。四人の男に、もはや再現不可能な、仏伊を代表する名優の贅沢な取り合わせ。それぞれ火花散らして、ついでによだれも垂らして、鬼気迫る演技を見せてくれます。トホホ……。

【クレジット】

監督	マルコ・フェレーリ	Marco Ferreri	
製作	ヴァンサン・マル	Vincent Malle	
脚本	マルコ・フェレーリ	Marco Ferreri	
	ラファエル・アスコナ	Rafael Azcona	
台詞	フランシス・ブランシュ	Francis Blanche	
撮影	マリオ・ヴルピアーニ	Mario Vulpiani	
音楽	フィリップ・サルド	Philippe Sarde	
出演	マルチェロ・マストロヤンニ	Marcello Mastroianni	マルチェロ
	ウーゴ・トニャッツィ	Ugo Tognazzi	ウーゴ
	ミシェル・ピッコリ	Michel Piccoli	ミシェル
	フィリップ・ノワレ	Philippe Noiret	フィリップ
	アンドレア・フェレオル	Andrea Ferreol	アンドレア
	ソランジュ・ブロンドー	Solange Blondeau	ダニエル
	フロランス・ジョルゲッティ	Florence Giorgetti	アンヌ
	ミッシェル・アレクサンドル	Michèle Alexandre	ニコール
	モニーク・ショーメット	Monique Chaumette	マドレーヌ